

政府の低文教政策を追及し、昨日『私学訴訟』の争闘開始さる!!

市文支費値上げ阻止、文教予算市文支

委員、各部長の反対声明を打ち取り、

12月市議会を包圍しよう



全てのクワッパで討論を展開し、

決議を集中しよう!!

昨日、私立高校生超過
学費返還請求訴訟公判
大阪地裁にて開始さる。

全市大の学友諸君!

昨日、大阪地裁において
「私学訴訟」の一回口頭
弁論記述が開始された。

この訴訟は、大阪府下私

立高生を子供にもつり家
族によつて提起されたも
のである。私立高校の学

費が公立高校の学費の44

倍にもはね上がっている
今日の状況の下で(10年

前は11倍だった)①就学

希望者全員を収容できる
公立高校の設置、②私立

高校生超過学費に相当す

る返済義務のない奨学金
の給付を要求して叩かれ

ている。この叩きは極めて

重要な意義をもっている。
インフレと不況、諸物価

の高騰の中で、勤労人民

の生活は極度に悪化して
おり、政府の低文教政策

の下での私学を先頭とし

た毎年の学費値上げは、
ますます勤労人民の子弟

を高等教育から排除する

ものとなつてゐる。それ
に真向うから対決せんと

するこの私学訴訟の叩い

は、それ自身、問題解決
の正しい方向性を明示し

てゐる。

この過程で、学費、教

育問題が極めて社会化してゐることは

注目する必要がある。部落解放同盟、

PTA、総評、教職組、全労通、勤労

全金、日放労などの共闘関係が確立し

ており、労働者階級自身が学費、教育

問題をとり上げ叩いを開始せんとして

いるのである。

「地方財政危機」「格差是正」を口実

とした市大学費値上げ阻止!

学友諸君! 戦後一貫して教育責任

を放棄し私学依存でまかなわんとした

政府の低文教政策は今、全国一斉学費

値上げとして矛盾を露呈してゐる。71

年以降、毎年百枚以上の大学で学費大

値上げが強行され、今年も、国立大

値上げ(文部省2倍化、大蔵省3倍化)

が予定され、私立大も、慶応、立命、

中央、東理大など、物価スライド制導

入を含む値上げを続々と発表してゐる。

さて、学友諸君! 全国最低の学費に据

え置かれてきた市大の学費値上げ攻撃

も必至となつてゐる。政府の地方財政

緊縮化、低文教政策は、市における教

育政策(学校、保育所建設等)はほと

んど市の超過負担でまかなわれている

現状を生み出し、市民の教育要求をふ

みにじるものとなつてゐる。そして大

阪市は現在360億円の赤字をかかえ

ているのだ。(450億円になれば赤

字再建団体となる。)大阪市はかかる現

状の中で、「市大の学費は安すぎる。

国に予算を要求しようとするれば市大の

学費値上げは止むをえない」として学

費の値上げを策動してゐる。だが、こ

の正しい方向性を明示し

全ての民主的学友は民学同に結集しよう!

の主張が、何れの正当性をもたないことは明白である。

論、政治主義を露呈している。

(オ一)に、市大の学費値上げは「格差是正」をもたらすものなどではなく、逆に私立大の値上げのあと押しにばかりならぬこと。(オ二)に、「地方財政貧困化」の現状を如何に突破してゆくのかという視点を定着させているといふことである。

学「共」派は、三木内閣の大衆収奪、政治反動、教育反動を暴露することとなり、学費闘争を議会の主義的倒閣運動に流し込んでいる。

市民の要求を真に実現するために、教育諸条件の根本的改善へ保育所、高校増設等、社会福祉施設の拡充、同和事業の推進のためにこそ、市はまず自主財源の確保へこれに独占企業への優遇措置などうち切り、手段的可能性がある。事実、^{法人格付}中校のうち60%というのは大阪市だけであり、他は45%が常識、国への関心を打ちぬくことはならないのである。

今日反独占勢力に要請されているのは、政府の反動性を暴露することのみならず、その一つ一つの攻撃に対して明確な反独占的効果をもって大衆的勢力闘争を展開し、その全国的闘争への統一戦線の確立、強化へ進むことである。であるために、我々は、学「共」派を阻止し、のみならず、学費闘争の根本的拡大へ、市大の学費改革の関心と発言させ、世間自治は、国入関心を促さなければならぬのである。これからの闘争は従つては経済主義であるといふ。そのための関心をめき、市財政の健全化、市民の統一戦線を提起し、ホリエと、市大の力に代りて闘争を結ぶのが日本共産党であり、これこそ我々の闘争の張りを打ち立てる。他方自治体

直ちにワラス討論、決議を促し、学長、学部長及び声明を打ち取り、は日市議会議を包围しよう。

「オモクラート」派に至っては、学「共」派の闘争を自由

大阪市の教育改革を巡る闘いは、奨学金、高校建設、学校給食改善など、今日益々大まな前進をみせつつある。

「オモクラート」派に至っては、学「共」派の闘争を自由

市大に於ても、今春期田中会館闘争、サークルBOX獲得闘争にみられるように、市大文武予算の配分を巡って闘いが続けられている。

「オモクラート」派に至っては、学「共」派の闘争を自由

我々は日南みんとする市議会に向け、(オ一)に、全このワラス、サークル、自治会討論、決議を集中し、(オ二)に、各学部長、学主部団交を通して、反対声明を打ち取り、(オ三)に、学生大会、ストを含む強固な闘争体制の下で学長評議会団交を実現してゆくことである。

「オモクラート」派に至っては、学「共」派の闘争を自由

・そこ(オ四)に、この闘いの強力な展望を切り拓くべく、部落解放同盟はじめ総評、PTA、労組など全ゆる良主体、労働者との共同体制を築きあげることである。

「オモクラート」派に至っては、学「共」派の闘争を自由

二の闘いを我々は、日大阪市議会への全攻でもって果中しなればならぬ。

「オモクラート」派に至っては、学「共」派の闘争を自由

学「共」派、「オモクラート」派は双方共に、市大の学費競争勝利の展望を明示できず、それと陰へくすぶるかの如く、「首都圏会行動」、「全大阪統一行動」を捏造し、「三木打倒」をうけては「学「共」派」、「反恐慌、反インフレ、赤字国債阻止の闘いなくしては」(「オモクラート」市大の学費値上げ阻止の展望はないとする全くの政治決定

「オモクラート」派に至っては、学「共」派の闘争を自由

学「共」派、「オモクラート」派は双方共に、市大の学費競争勝利の展望を明示できず、それと陰へくすぶるかの如く、「首都圏会行動」、「全大阪統一行動」を捏造し、「三木打倒」をうけては「学「共」派」、「反恐慌、反インフレ、赤字国債阻止の闘いなくしては」(「オモクラート」市大の学費値上げ阻止の展望はないとする全くの政治決定

「オモクラート」派に至っては、学「共」派の闘争を自由

市大の学費値上げ阻止の展望はないとする全くの政治決定

「オモクラート」派に至っては、学「共」派の闘争を自由